
おいしい王様

苺のタルト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おいしい王様

【コード】

N2936J

【作者名】

苺のタルト

【あらすじ】

ある王国のお話。

王様がやらかします。

(前書き)

意味のない童話

……
昔々、ある所に王様とお妃様がいました。
ある日、王様がお妃様に言いました。

「ああ、何て君は美しいのだろう。食べてしまいたいくらいだ」
「どうぞ王様お食ってください」

お妃様が言ったので、王様はお妃様をペロリと食べてしまいました。
た。

王様とお妃様の間にはお妃様がいましたが、
それはそれほたいそうお妃様に似て美しいお方でしたので、
王様は言いました。

「ああ、何て君は美しいのだろう。食べてしまいたいくらいだ」
「どうぞ王様お食ってください」

お妃様が言ったので、王様はお妃様をペロリと食べてしまいました。
た。

王様には、とても優秀な大臣がいました。
そこで王様は言いました。

「ああ、君は何て優秀なんだ。食べてしまいたいくらいだ」

「どうぞ王様お食べください」

大臣が言ったので、王様は大臣をペロリと食べてしまいました。

そうしてまた一人、また一人と王様はペロリと食べていきます。
とうとう、王様の国には誰もいなくなってしまいました。

そんなある日、ロバを連れた小さな可愛い少年がやってきました。
した。

王様は言いました。

「ああ、君は何て小さくて可愛いんだ。食べてしまいたいくらいだ」

少年は笑って答えました。

「狂ってる」

めでたしめでたし

.....

(後書き)

思いつくままに書いた産物でした。
読んでくれてありがとう！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2936j/>

おいしい王様

2010年10月14日17時59分発行